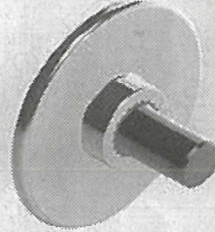


2019年10月24日

商経機械新聞(3面)に掲載されました



関西ものづくりワールドの日東精工ブース



工業用ファスナーのトップ企業である日東精工

日東精工 異種金属接合 「ア ク ロ ー ス」

(京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20、社長材木正己氏、0773-42-3111)は、同社の冷間圧造技術によって素材を成形した後、プレス加工により複数の素材同士を強固に接合する新技術「ア ク ロ ー ス」(異種金属接合)が注目されている。

「冷間圧造」は、冷間(常温)で金属に圧力を加え、変形・成形を行う加工技術。切削加工に比べ材料ロス(金属廃棄物)がほぼ発生せず、素材の強度も保持。また、高い精度でばらつきを抑えた加工が可能となった。

同製品は、工業用ファスナーの開発・製造を通じて培った冷間圧造技術

ねじ、ねじ締め機、検査・洗浄装置までトータルファスニング企業



工業用ファスナー



自動組立機械



計測・検査装置

私たちがつくるねじは
心と心を結ぶ
そんな役目を担っています



ねじとはモノとモノをつなぐもの
ねじによってモノがつくられ
モノを介して人と人はつながります

とプレス加工技術を活かして強固な異種金属接合を行う新しい工法であり、従来の異種金属接合技術のあらゆる課題にアプローチする。

大阪で開催された「関西ものづくりワールド(主催・リードエグジビションジャパン)」に出展。同製品を展示し来場者から注目を集め手応えを掴んでいた。

日東精工株式会社 代表取締役社長 材木 正己 <https://www.nittoseiko.co.jp/>
 本社 〒623-0054 京都府綾部市伊倉町梅ヶ畑20番地 TEL.0773-42-3111 FAX.0773-42-8426